

●普通の時の太陽



「太陽観察シート」を通した太陽。
普通の光を通さず、赤い色しか通さないのので、赤く見える。

●部分日食（月が太陽に重なる＝黒い部分は、月の影を見ている）



「シート」を使わないで撮影すると、普通の太陽のように、まぶしく写る。
(肉眼で見ると、危ないのが分かるかな?)



「シート」を通して撮影すると、このように写る。



「ピンホール式」(穴を通った光を紙に映す)でも、太陽が「欠けている」のが分かる。
(穴開きお玉を使用)



だいぶ、月が太陽に重なってきた。



「ピンホール式」でも、三日月のようにになっている。

●金環日食（太陽に月が重なるが、ふちから太陽がはみ出る）



あと少しで、完全に月が太陽に重なる。



完全に月が太陽に重なった。

- ①月が地球から遠いため、小さく見えるので、太陽がふちからはみ出る「金環日食」になった。（「金の指輪」に見えるかな？）
- ②月が地球に近く、大きく見ると、完全に太陽が隠される「皆既日食」になる。



「ピンホール式」でも○（目玉のように見えるかな？）になっているのが分かる。



「反射式」（鏡で壁に太陽の光を反射させて当てる）でも三日月のような形が見える。
（鏡に4つの穴を開けた紙をかぶせたもの）

まとめ：ちょっと、暗くなった感じがした。
風が吹いて、肌寒い感じがした。
温度が [2°C] くらい下がった。
湿度は、そんなに変わらなかった。

ビデオ撮影もしました。

